様式第１号

# 事務事業評価表（一般事業）

| 評価対象年度 | 平成 24 年度 |
|---|---|
| １次評価日（主幹等） | 25 年 3 月 31 日 |
| ２次評価日（課長等） | 25 年 3 月 31 日 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| １ 事業名 | 産業連携・交流推進事業 | | | コード | 11404 |
| ２ 担当部課 | 部等 | 経済部 | 課等 | 工業振興課 | 作成者 日岐充利 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ３ 事業概要 | 目的体系 基本目標 | 魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち | | |
| | 政　策 | 基幹産業の振興 | 施　策 | 工業の振興 |
| | 予算科目 | 産業連携・交流推進事業費 | 業務委託 | なし（直営） |
| | 実施義務 | なし（選択的事業） | 国県補助 | なし |
| | 根拠法令 | なし | | |

## ●事業の内容（DO）

### ４ 事業の目的

＊誰のために、どのような状態にしたいのか

市内企業が取り組む新規成長産業分野等の研究開発に対して、大学との連携を支援する。
他地域との交流を行い、市内企業の受発注活動の支援を行う。

### ５ 事業の実施内容

＊24年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

・信州大学大学院修士課程・博士課程専門職コースの支援を行った。
・岡谷市金属工業連合会、機械精密工業会、表面処理工業会、電気工業会、計量器工業会の事務局として工業会活動を支援した。中京圏の大手企業へ受注活動を目的とし、工場見学等の視察を行った。
・八王子市企業と市内企業との情報交換会を昨年に引き続き実施した。

| | |
|---|---|
| 前年度の課題への対応 | 低迷する経済状況にあって、市内企業の受注確保を目的に大手企業や他地域との交流事業を中心に実施した。 |

### ６ 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

| 区　分 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度(見込み) |
|---|---|---|---|---|
| ① 活動指標（指標名） | 開催数 | | | 単位 回 |
| 実績値 | 2 | 1 | 2 | |
| ＊指標の説明 | 講座等（ナノ加工研究会）の開催数，Ｈ２２から交流会、情報交換会等の開催数 | | | |
| ② 成果指標（指標名） | 参加者数 | | | 単位 人 |
| 目標値 | 50 | 50 | 45 | 33 |
| 実績値 | 64 | 45 | 33 | |
| 達成度 | 128.0% | 90.0% | 73.3% | |
| ＊指標の説明 | ナノ加工研究会の参加者数、Ｈ２２から交流会、情報交換会等の参加者数 | | | |
| ＊目標値の設定方法の説明 | 定員人数 | | | |

### ７ コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

| 区　分 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度(見込み) |
|---|---|---|---|---|
| ① 直接事業費 | 181,419 | 160,854 | 145,427 | 938,000 |
| 経常経費 | 181,419 | 160,854 | 145,427 | 938,000 |
| 臨時的経費 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ＊臨時的経費の説明 | | | | |

| 区　分 | | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度(見込み) |
|---|---|---|---|---|---|
| ② 人件費 | | 4,800,000 | 3,600,000 | 3,600,000 | 3,600,000 |
| | 正規職員の人数（人） | 0.60 | 0.45 | 0.45 | 0.45 |
| ③ 合計コスト（①＋②） | | 4,981,419 | 3,760,854 | 3,745,427 | 4,538,000 |
| | 前年度比 | | 75.5% | 99.6% | 121.2% |
| | 財源内訳 一般財源 | 4,981,419 | 3,760,854 | 3,745,427 | 4,538,000 |
| | 財源内訳 特定財源 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ＊特定財源の説明 | | | | |
| ④ 活動一単位あたりコスト | | 2,490,710 | 3,760,854 | 1,872,714 | |
| | 前年度比 | | 151.0% | 49.8% | |
| ⑤ コストに関する補足説明 | | | | | |

## ●事業の評価（CHECK）

### 8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　　妥当性　高い

| 評価項目 | はい | いいえ |
|---|---|---|
| ① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。 | 1 | |
| ② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。 | 1 | |
| ③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。 | 1 | |
| ④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。 | 1 | |
| ⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。 | 1 | |

### 9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　　有効性　標準

| 評価項目 | はい | いいえ |
|---|---|---|
| ① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。 | 1 | |
| ② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。 | 1 | |
| ③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。 | 1 | |
| ④ この事業の利用者が増加した。　成果指標の実績値　前年度比　73.3% | | 0 |
| ⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。　成果指標の目標値　達成度　73.3% | | 0 |

## ●改善の内容（ACTION）

### 10 具体的な課題と改善

| | |
|---|---|
| 課題 | （少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること）<br>市内企業の受注確保に向け、市内企業が取り組む新たな研究開発にどのように信州大学や山梨大学等との連携に結び付けていくかが課題。 |
| 改善方法 | （上記の課題をふまえて25年度以降に実施する、具体的な改善の内容）<br>市内企業の研究開発や受発注活動等の情報収集に努める。 |
| 改善開始時期 | Ｈ２５年４月 |

## ●次年度の計画（PLAN）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 11 次年度の方針 | 継続して実施 | 12 施策評価による25年度の優先度<br>*H23年度施策評価表より転記すること | B |